

どーらく 改題 逆説土楽たより

断捨離考

2月号(NO41)通巻 191号

2022年2月10日(木)発行(毎月10日)

【農暦】畑は凍土の地肌を見せているが少しづつ春の兆しを感じる！

○今が一番だと思うが寒い。冷えきった部屋に、朝陽が眩しい。風が冷たい。外へ出るのが億劫になるが、なるべく外に出たいと思っている。豪雪のニュースが続いている。4日の立春である。北京冬季オリンピックの開会式が行われた。コロナ禍で東京と同じく無観客でバブル方式だという。コロナの1日の新規感染者数は5日はピークで10万人を超えた。7日は6万人を超えて少し下降？しているが、高い数値である。コロナ収束の先は依然不透明である。



<園芸店の花々> 7日撮影

○節分の豆まきイベントの多くは中止と聞くが、川柳の例会で笠間にひとりであったので、豆まきも恵方巻もやらなかった。齢に因んだ数の豆を食べると一年健康で居られる云う。後日、豆まきの残りを齢に合わせて食べた。LINEの豆まきのスタンプまでである。パンデミックはいろいろなものを変えてしまう。北京冬季オリンピックの開会式の映像は東京オリンピックを更に進化させたような映像の祭典だったように見えた。時代の速さに付いて行けない。時々、アナログ時代の良さが懐かしくなる。節分にはやはり升に入った豆をまきたいものである。

○オリンピックのアスリートは素晴らしい。メダルだけではないものがある。覇権主義、キナ臭い火種、温暖化が深まる中にあるので、北京冬季オリンピックである。コロナもある。こんな時であるからこそ、友好親善・融和の真に平和のスポーツ祭典であって欲しい。政治は邪魔しないで欲しい。しばらくは観戦を楽しみたい。



<周辺の篠竹刈後> 6日撮影

○オリンピックのアスリートは素晴らしい。メダルだけではないものがある。覇権主義、キナ臭い火種、温暖化が深まる中にあるので、北京冬季オリンピックである。コロナもある。こんな時であるからこそ、友好親善・融和の真に平和のスポーツ祭典であって欲しい。政治は邪魔しないで欲しい。しばらくは観戦を楽しみたい。

○冬が厳しいほど春の芽吹きは生命力に溢れるという

が、庭の梅、桃、ボケがしっかりと花芽を膨らませて来ている。園芸店の店先には色とりどりの花で春いっぱいである。畑は凍土の地肌を見せているが少しづつ春の兆しを感じる。“「農耕」接触でお元気に”と年賀状を頂いたが、篠竹刈りで筋肉痛になる。緑がないのでグリーンジムとは云えないが、運動不足にはいい。コロナ収束を待ちながら、春耕の準備をしたいと思う。(了)

【楽農】<畑> プラム、庭木など剪定。周辺の篠竹など刈り取り。ブルーベリーに施肥。

【楽市】 イベントなど；共生つばさの会・詩吟(13日) 地元の野焼き(23日) バード大会(28日) 川柳の会(3日)

【つぶやき=Tweet】NHKのETV特集を見て思ったのだが！

○先日、遠藤周作の「沈黙」をテーマしたNHKのETV特集を見た。再放送だったようだ。ETV特集は、さまざまな社会問題を取り上げるドキュメンタリー番組。考えるヒントを提供する「心の図書館」であることを目指すという。心にずずっと来るものがあった。「沈黙」は若い頃読んで心に深いものを残していたので、興味深いものがあった。世界的にも多くの読者がいた事は知らなかった。出筆には遠藤周作の親との確執など知る由もなかった。

「沈黙」は私の心の人生に影響した作品の一つである。

○同じ頃読んで、大きく影響された本に、土方歳三の燃えよ剣、吉田松陰の世に棲む日日がある。ほぼ同時期に読んだ本には、三島由紀夫のサド公侯爵夫人、丹羽文雄の親鸞、カミュなどがある。心に深く残っている。マダラボケもあるが鮮明な記憶もある。

○“人間は生まれながらに二種類ある。強い者と弱い者と。聖者と平凡な人間と。英雄とそれに畏怖する者と。そして強者はこのような迫害の時代にも信仰のために炎に焼かれ、海に沈められることに耐えるだろう。だが弱者はこのキチジローのように山の中を放浪している。”と「沈黙」の人間像である。映画「沈黙」も観たが凄い映画だった。所詮キチジローでしかないと思いつつ、キチジローを問うていた事を覚えている。心の青春期であったと思う。

○NHKのETV特集を見て思ったのだが、沈黙は政権批判の内容ではないが、社会の在り方を問い、政権批判を暗示せる様な社会派番組は決まって、深夜番組やラジオ番組が多い。また、人気キャスターの降板などを巡りての話を聞くとやはりと深読みしてしまう。

○国際世論と偏りを感じる時、排外主義的論調を感じる時にはマスコミが心配になる。国際比較、トレンド比較などで政権に不都合なニュースの扱いに偏りを感じた時でもある。庶民には知る力は限られている。井の中の蛙にされかねない。マスコミに頼るしかない。政権チェック機能を果たしているのは週刊誌かなと思ってしまう。ヒトラー発言が話題になっているが、マスコミが政権チェック機能を失えば、アッという間に大政翼賛社会になってしまう。米国は政党新聞が主流と聞く。利己、無知、忖度の先を想像して欲しい。

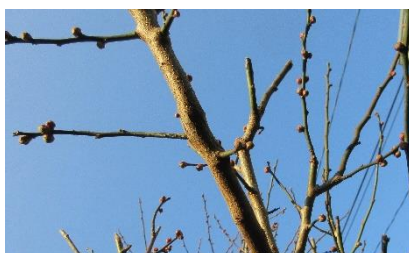
○NHK続きになるが、歴史ものが好きで、「鎌倉殿」を見ている。歴史に学ぶというが、歴史は惨い。正義など無い。フィクションでも人間ドラマがとってしまう。(了)

○断捨離考：一步先進二歩後退でも継続。

【後記】自己顕示は人を卑しくする。共感共有だと何となく思う。【HPに転載】



＜園芸店の花々＞7日撮影



＜梅の花芽＞8日撮影

発行者；小暮虎雄

住所；笠間市本戸4201-10

携帯電話；090-9333-4135

HP；kogure農場

メール；torao-k@nifty.com